

自然災害発生時における業務継続計画

事業所名	NPO 法人おにの家 ケアホームハイツ桜ヶ丘	種別	共同生活援助
代表者	尾島 茂	管理者	櫻井 克男
所在地	埼玉県熊谷市板井 1618-4	電話番号	048-536-8003

1. 総論

(1) 基本方針

災害において以下の項目を原点とし、BCP作成および災害への対処を実施していく。

- 1) 利用者の安全確保
- 2) 職員の安全確保
- 3) サービスの継続

※一般的には3日間を乗り越えることができれば、外部からの何らかの支援を受けることができる想定されているので、その期間を重要視する。

(2) 推進体制

以下に平常時における災害対策や事業継続の検討・差空挺や各種取り組みを推進する体制を記載する。被災した場合の対応体制は「3. 緊急時の対応」の項目に記載する。

主な役割	部署・役職	氏名	補足
統括責任	管理者	櫻井克男	
情報収集担当	管理者	櫻井克男	
外部連携担当	管理者	櫻井克男	
食事担当	サビ管	小原由里香	
生活支援担当	サビ管	小原由里香	
救護担当	サビ管	小原由里香	
設備・備品担当	一般職	櫻井秋平	
書類・研修担当	一般職	櫻井秋平	
消火・安全担当	一般職	櫻井秋平	

(3) リスクの把握

① ハザードマップなどの確認

当施設は熊谷市江南地区に該当し、埼玉県道130号に面している。荒川から3km以上離れており、浸水した場合の想定される水深は5m未満とされている。液状化もしにくい地域で、施設すぐ裏に指定緊急避難場所がある。一方で活断層が近くにあり大きな地震が起きやすい地区である。そのため地震や火災、台風などに特に注意する必要がある。

(別紙1～3ハザードマップより推察)

(4) 優先業務の剪定

① 優先する事業

災害時以下のように事業を優先して行う。

<優先する事業>

- 1) 入所（ケアホームハイツ桜ヶ丘、ハイツ桜ヶ丘第2、サテライトハイツ桜ヶ丘）
- 2) 通所（おにっこハウス養鶏部門）
- 3) 通所（おにっこハウス喫茶、味噌部門）

<当座休止する事業>

- 1) 通所（おにっこハウス喫茶、味噌部門）

② 優先する業務

食事及び衛生の保持を優先し、業務を実施する。

優先業務	必要な職員数			
	朝	昼	夕	夜間
食事支援（入所）	1人	1人	1人	
生活支援（入所）	1人	1人	1人	1人
養鶏（通所）	1人	1人		

(5) 研修・訓練の実施およびBCPの検証・見直し

① 研修・訓練の実施

以下の通り研修及び訓練を実施する。

- ・頻度：年に1度
- ・訓練内容：情報収集、避難準備、避難の流れの振り返りと訓練、生活訓練
- ・その他：備蓄品の確認、設備の確認

※訓練前に職員会議を実施し、訓練テーマを決める。

職員…様々なシチュエーションに対し、対応がスムーズに行えるようにする。

利用者…実際起きた時イメージできていることで、精神の不安定さの軽減を図る。

※訓練後に職員会議を実施し、訓練課題について検討し、BCPの修正を行う。

※災害が起きることが予想された際に、職員会議を実施し、BCPの想定範囲内か検討する。

想定範囲外だった場合は、対応を再検討する。

② BCPの検証・見直し

以下の通り研修及び訓練を実施する。

- ・頻度：年に1度（訓練前後の職員会議にて）
- ・内容：入居されている利用者、利用者の身体・精神状態、時勢などを考慮し、BCPの見直しを行う。

※災害が起きることが予想された際や利用者に変化があった場合に、適宜職員会議を実施し、BCPの修正を行う。

2. 平常時の対応

(1) 建物・設備の安全対策

① 人が常駐する場所の耐震措置

場所	対応策	備考
特になし		

※旧耐震基準設計に該当しない。

② 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
キャビネット（第2）	耐震用突っ張り棒の設置	
消火器	設備点検	

※設備等に関しては、定期的な日常点検を実施する。

③ 水害対策

対象	対応策	備考
外壁のひび割れや、留め具の錆・緩み	訓練時に点検を実施する	
屋根材のひび割れや、留め具の錆・緩み		
窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付しているか		検討する
施設周囲に暴風で飛ばされる物がないか		
窓や戸の開閉不備		

(2) 電気が止まった場合の対策

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
冷蔵庫	保冷剤およびクーラーボックス
照明器具	懐中電灯
冷暖房器具	毛布、うちわ
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・自家発電機または太陽光発電システムの充電装置を検討 	

(3) ガスが止まった場合の対策

稼働させるべき設備	代替策
調理器具	カセットコンロ、ホットプレート
給湯設備	入浴は中止し、清拭
備考	

(4) 水道が止まった場合の対策

① 飲料水

水道が止まった場合に備え、備蓄を行う。

- ・500ml ペットボトル 3 本 (3 日分) ×10 人分を備蓄 2027 年 11 月まで
- ・2l ペットボトル 6 本を備蓄

② 生活用水

二次災害などで水道が止まることが予想される場合、水を確保しておく。

- ・浴槽への貯水 180l×3 か所
- ・給水袋 5l×10 個

※入浴は中止

※食事は使い捨ての容器を使用

※トイレはポータブルトイレにて処理

(5) 通信が麻痺した場合の対策

被災し一部の通信が麻痺した場合、通信可能な方法を以下の中から検討する。

- ・ハイツ電話：048-536-8003
- ・ハイツ PC メール：oninoieno.home@snow.plala.or.jp
- ・ハイツスマホ：080-8371-9752
- ・ハイツスマホ G メール：haitsuyingkeqiu@gmail.com
- ・ハイツスマホ LINE

(6) システムが停止した場合の対策

システムが停止、もしくは停止する可能性がある場合、以下の対応を行う。

- 1) 事務処理
 - ・手書き事務処理を行う
- 2) サーバーの移動
 - ・浸水リスクが有る際には2階倉庫へ移動
- 3) データの保存
 - ・日常的にポータブルデバイスへバックアップを行う
 - ・書類を2階へ保存

(7) 衛生面（トイレ等）の対策

① トイレ対策

【利用者】

水洗トイレの使用が困難な場合、または困難なことを想定して以下の対応を行う。

- 1) 簡易トイレ及び処理用袋を備蓄しておく。
- 2) 簡易トイレの使用（電気・水道が止まった時）
 - a. 速やかに簡易トイレを所定の箇所に設置し、そちらを使用するよう案内をする。
 - b. 排泄物や使用済みのオムツなど保管する場所を決める。
 - c. 汚物には、消臭固化剤を使用する（燃えるごみとして処理が可能）
- 3) 生理用品を備蓄しておく。

【職員】

水洗トイレの使用が困難な場合、または困難なことを想定して以下の対応を行う。

- 1) 簡易トイレ及び処理用袋を備蓄しておく。
- 2) 簡易トイレの使用（電気・水道が止まった時）
 - a. 速やかに簡易トイレを所定の箇所に設置し、そちらを使用するよう案内をする。
 - b. 排泄物や使用済みのオムツなど保管する場所を決める。
 - c. 汚物には、消臭固化剤を使用する（燃えるごみとして処理が可能）
- 3) 生理用品を備蓄しておく。

② 汚物対策

排せつ物などは、ビニール袋などに入れて消臭固形剤を使用して密閉し、利用者の出入りの無い空間へ、衛生面に留意して隔離、保管しておく。

(8) 必需品の備蓄

【飲料・食品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
飲料水 500ml	30 本	2027 年 11 月	玄関	櫻井秋平
紙コップパン	30 個	2028 年 1 月	玄関	
白飯	30 個	2028 年 2 月	玄関	
パスタ	30 個	2028 年 1 月	玄関	
筑前煮	10 食	2028 年 2 月	玄関	
ハンバーグ	10 食	2028 年 2 月	玄関	
肉じゃが	10 食	2028 年 2 月	玄関	

※訓練時に消費期限があるものは、適宜交換を行う。

【医薬品・衛生用品・日用品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
マスク	80 枚	—	防災バッグ	櫻井秋平
歯ブラシ	30 本	—	防災バッグ	
綿棒	200 本	—	防災バッグ	
絆創膏	20 枚	—	救急箱	
アルコール消毒	2 本	—	救急箱	
風邪薬	2 箱	2025.6	救急箱	
頭痛薬	2 箱	2025.4	救急箱	
かゆみ止め	2 本	—	救急箱	

※訓練時に消費期限があるものは、適宜交換を行う。

【備品】

品名	数量	保管場所	メンテナンス担当
防災バッグ	15 個	玄関	櫻井秋平
電池	10 本	玄関	
タオル	10 枚	物置	
毛布	10 枚	物置	

(9) 資金手当て

- 1) 火災保険：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（水害特約無し）
- 2) 手元金
常時金庫にて 10 万円保管（1000 円×50 枚、10000 円×5 枚）

3. 緊急時の対応

(1) BCP発動基準

<地震による発動基準>

熊谷市周辺に震度5以上の地震が発生し、被災状況や社会的混乱を総合的に管理者が判断し、必要としたとき管理者の指示によりBCPを発動し、対策本部を設置する。

<水害による発動基準>

大雨警報、洪水警報が発表されたとき。

BCP発動に際しては、管理者が指示を行う。管理者が不在の場合は以下の通りとする。

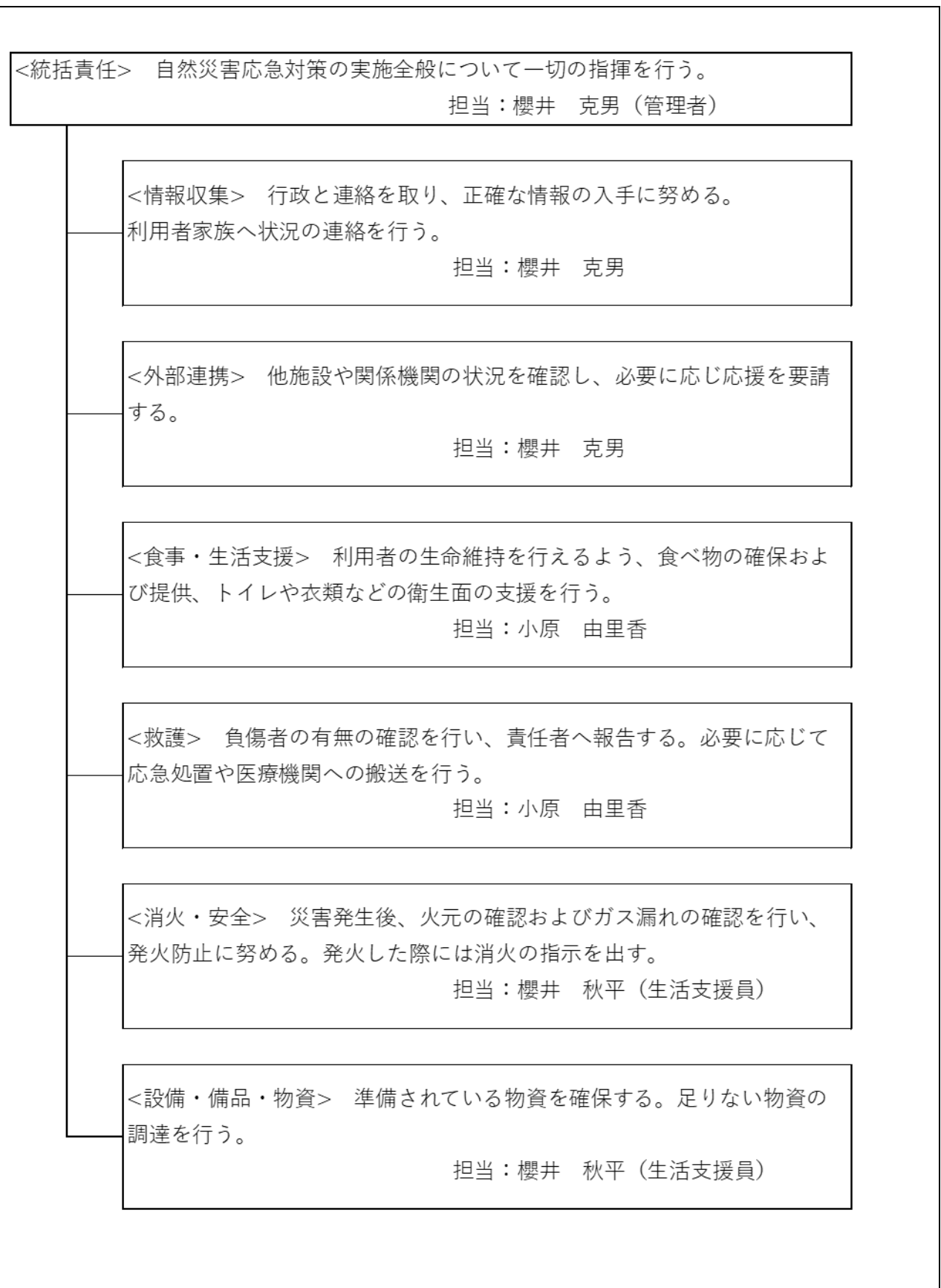
管理者	代替者①	代替者②
櫻井克男	小原由里香	櫻井秋平

(2) 行動基準

災害発生時の行動指針を以下に示す。

- 1) 自身および入居者の安全の確保
- 2) 家族の安全を確認する
- 3) 管理者へ報告し、指示をもらう
 - ・ 二次災害への対策
 - ・ 地域との連携、関係機関との連携

(3) 対応体制



(4) 対応拠点

緊急時の対応体制の拠点となる候補場所は以下の通りとする。

第 1 候補場所	第 2 候補場所	第 3 候補場所
第 2 リビング	第 1 リビング	

(5) 安否確認

① 利用者の安否確認

<安否確認ルール>

別紙 4 をもとに安否確認を行う。

利用者氏名	安否確認	容態・状況
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	

※直接確認が難しい場合には、電話にて利用者の安否確認を行う。

容態・状況については以下の点の確認を行い、処置や医療機関への搬送の判断をする。

- ・意識の有無
- ・怪我の有無
- ・怪我の程度
- ・行動可能の判断

<医療機関への搬送方法>

意識不明瞭な場合、頭部や胸部・腹部への強い怪我や出血がある場合、行動不可（足が痛くて歩けない等）の場合、安全な場所へ移動し、救急車をすぐに呼ぶ。

<熊谷生協病院>

住所：埼玉県熊谷市上之 3854

TEL：048-524-3841

② 職員の安否確認

<安否確認ルール>
 別紙5をもとに安否確認を行う。
 直接確認が難しい場合には、電話にて職員の安否確認を行う（電話、LINE）。

職員氏名	安否確認	自宅の状況	家族の安否	出勤可否
	無事・死亡 負傷・不明	全壊・半壊 問題無し	無事・死傷有 備考()	可能・不可能 備考()
	無事・死亡 負傷・不明	全壊・半壊 問題無し	無事・死傷有 備考()	可能・不可能 備考()

(6) 職員の参集基準

災害発生時の行動指針を以下に示す。

- 震度5強以上の揺れが発生した場合は、職員から管理者または事務所へ連絡をとり、30分以上連絡が取れない場合は、参集する。
- 自宅が被災した、本人・家族がけがをした場合などは出勤しなくてよい。また出勤路の状況や天候次第で難しい場合も、出勤しなくて良い。

(7) 施設内外での避難場所・避難方法

【施設内】

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	第2リビング	第1リビング
避難方法	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がいる場合は、安全に留意しながら利用者の誘導を行う。 ・避難場所を大声で周知しながら、集合する。 ・天井からの落下物に留意する。 ・避難時は極力、靴をはく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がいる場合は、安全に留意しながら利用者の誘導を行う。 ・避難場所を大声で周知しながら集合する。 ・天井からの落下物に留意する。 ・避難時は極力、靴をはく。

【施設外】

	第1 避難場所	第2 避難場所
避難場所	駐車場	江南総合公園
避難方法	<ul style="list-style-type: none"> ・避難時は、靴をはく。 ・利用者がいる場合は、安全に留意しながら利用者の誘導を行う。 ・車や落下物に注意する。 ・避難にあたっては、事業所内に残された方がいないか、大声で確認しながら避難する。 ・車いすの方は、極力複数で補佐する。 ・応急手当セットを持ち出す（事務長） 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難時は、靴をはく。 ・利用者がいる場合は、安全に留意しながら利用者の誘導を行う。 ・車や落下物に注意する。 ・避難にあたっては、事業所内に残された方がいないか、大声で確認しながら非難する。 ・車いすの方は、極力複数で補佐する。 ・応急手当セットを持ち出す（事務長） ・車両での避難は、足の弱い方を優先する。

(8) 重要業務の継続

以下を基本とし、業務を継続する。

経過目安	発生直後（夜間）	発生後 6 時間	発災後 1 日	発災後 3 日	発生後 7 日
職員出勤数	出勤率 20%	出勤率 40%	出勤率 80%	出勤率 80%	出勤率 100%
	1 名/日	2 名/日	4 名/日	4 名/日	5 名/日
在庫量	100%	90%	70%	20%	在庫正常
ライフライン	停電、断水	停電、断水	停電、断水	断水	復旧
業務基準	職員・入居者の安全確認	生命を守るため必要最低限	食事・排泄中心	ほぼ通常 一部減少、 または休止	ほぼ通常
食事		簡易食	簡易食 炊き出し	炊き出し	ほぼ通常
入浴		適宜清拭	適宜清拭	適宜清拭	入浴
排泄		簡易トイレ	簡易トイレ	簡易トイレ	水洗トイレ
洗濯		使い捨て	必要なものを 手洗い	必要なものを 手洗い	手洗いまたは、 洗濯機
口腔ケア		休止	適宜実施	適宜実施	ほぼ通常

(9) 職員の管理 (ケア)

職員の確保が難しい場合、一部の職員への負担が増える可能性がある。そのため、休憩・宿泊場所の確保と、シフト原則を定める。

① 休憩・宿泊場所

休憩場所	宿泊場所
ハイツ桜ヶ丘第2事務室	ハイツ桜ヶ丘第2事務室
旧小原ホーム	旧小原ホーム
おにっこハウス	おにっこハウス

② 勤務シフト

<災害時の勤務シフト原則>			
	責任者・副責任者	メンバー (近隣)	その他メンバー
A 班	櫻井克男／櫻井秋平	斎藤照代／清水智尋	出勤状況で割り振る
B 班	小原由里香／櫻井秋平	斎藤照代／清水智尋	出勤状況で割り振る

(10) 復旧対応

① 破損箇所の確認

別紙6 建物・設備の被害点検シートにて確認する。

② 業者連絡先一覧

区分		機関名	電話番号
行政 機関	消防	熊谷消防署 江南分署	048-539-0119
	警察	熊谷警察署	048-526-0110
	市 (町村)	熊谷市役所 (障害福祉課)	048-524-1451
	県	埼玉県福祉部障害者支援課 (施設支援担当)	048-830-3314
ライフ ライン	電気	エネワン電気 熊谷営業所	048-521-3215
	ガス	サイサングス熊谷営業所	048-521-3215
	水道	熊谷市役所上下水道部水道課	048-520-4135
	電話	NTT東日本埼玉支店	0120-116-000
応援者	事業所	おっここハウス	048-536-1344
	協力医療機関	熊谷生協病院	048-524-3841
	かかりつけ医	高津江南クリニック	048-539-0500
		埼玉江南病院	048-536-1366
		嵐山郷歯科	049-362-0589
		埼玉森林病院	049-356-3191
協力福祉施設	社会福祉法人青い鳥福祉会	049-359-6826	
取引先	利用事業所	わーくほーむ江南	048-536-9074
	利用事業所	はぐくみ園	048-581-8050
	食事発注	ヨシケイ (担当: 中島さん)	080-4054-9043
	消防設備	株式会社 消防設備	048-523-5500
		株式会社 ライフネット	042-822-5921

③ 情報発信

- ・ 理事長を含む法人管理者の合議の上、情報発信を行う。
- ・ 発表にあたっては、利用者及び職員のプライバシーに配慮する。

4. 他施設との連携

(1) 連携体制の構築

① 連携先との協議

他施設との連携については災害対策委員会にて協議中。

② 連携協定書の締結

今後地域との連携に関する協議が整えば、その証として連携協定書を締結し、写しを添付する。

③ 地域のネットワーク等の構築・参画

施設・事業所等の倒壊や多数の職員の被災等、単独での事業継続が困難な事態の場合、以下の地事業所や機関と相互に支援し合うことで、業務継続を図る。

【連携関係のある施設・法人】

施設・法人名	連絡先	連携内容
社会福祉法人 青い鳥	045-321-1772	職員派遣、物資提供

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
熊谷生協病院	048-524-3841	治療

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容
きょうされん埼玉支部	048-834-2430	職員派遣、物資提供

(2) 連携対応

① 事前準備

連携協定について検討中。

② 利用者情報の整理

他事業所等と連携がスムーズに行えるよう、利用者の最低限必要な個人情報をまとめておく（別紙7）。

氏名	要介護度	主病	服薬	禁忌・備考	連絡先

③ 共同訓練

連携事業所等との共同訓練を検討する。

5. 地域との連携

(1) 被災時の職員の派遣

熊谷市の災害派遣福祉チームのチーム員としての登録を、災害対策委員会で今後検討する。

(2) 福祉避難所の運営

おこっこハウス（同法人通所施設）にて福祉避難所の指定を受けている。

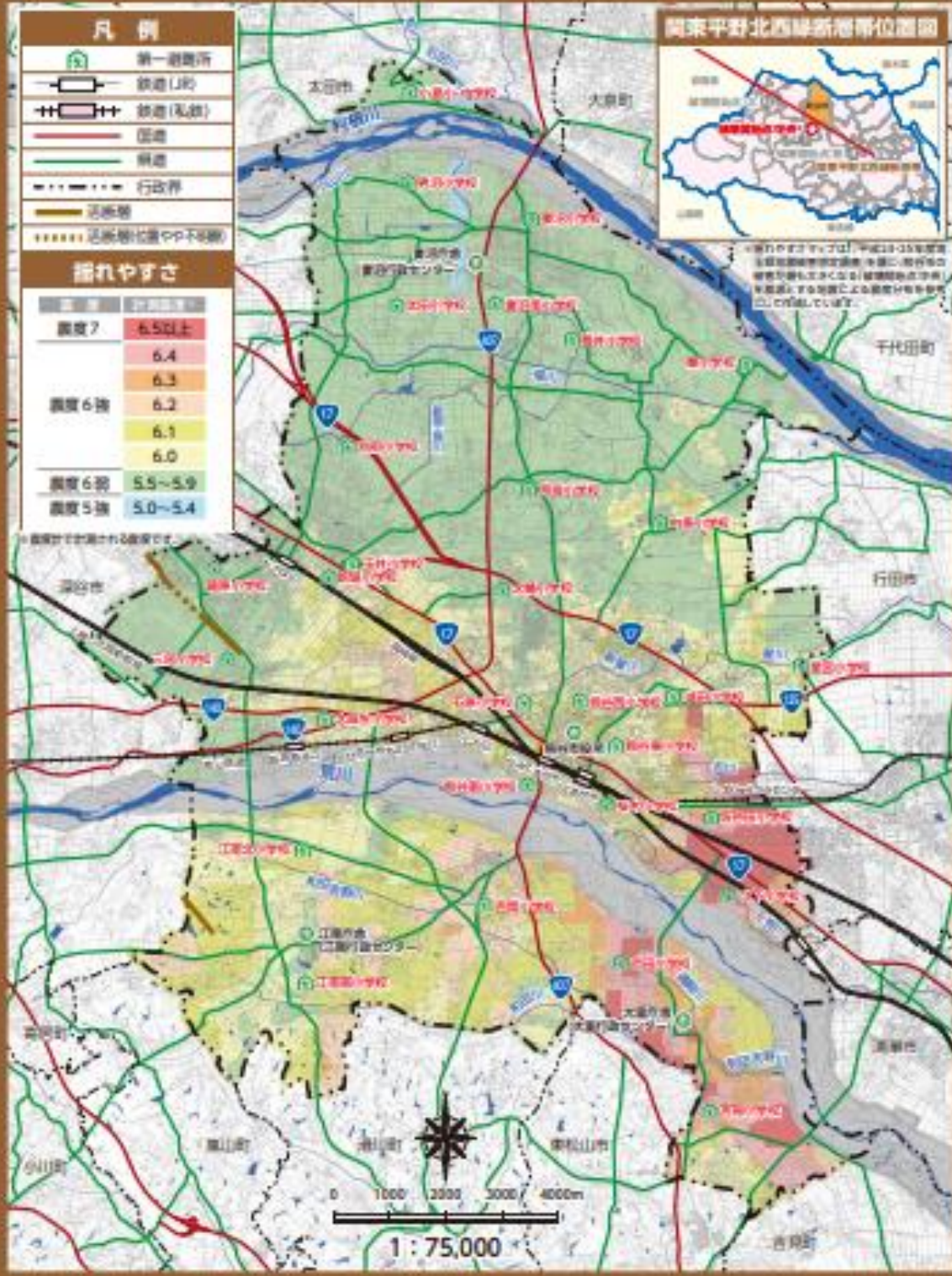
<更新履歴>

更新日	更新内容	更新者
2023年10月16日	『自然災害発生時における業務継続計画』作成	櫻井秋平

揺れやすさ マップ

揺れやすさマップとは

■地盤の状況と想定する地盤の剛性、さらに地震を引き起こす断層からの距離が近く、軟らかい地盤の地域では、揺れが大きくなります。
 ■想定地盤は、断層からの距離が最も大きくなる関東平野北西縁新潟帯位階面地域です。



液状化危険度 マップ

液状化危険度マップとは

■液状化危険度マップは、「平成24～25年度埼玉県地質調査委託調査」の地質・地下水データ、想定される地質調査等を基に液状化の可能性を推定したものです。

■液状化危険度マップを見て、液状化の可能性が高い地域を把握しましょう。

液状化発生のしくみ

■液状化とは、地震の揺れにより砂地盤を構成する砂粒子がばらばらになるため、間隙が地下水であたされた地盤が一時的に液体のような状態となり、地盤に水や空気が湧き出し、地盤の強度が弱まり、地盤の沈下が発生する仕組みです。

地震発生前



地震発生前には、砂地盤の砂粒子がばらばらにならず、間隙に地下水が充満しています。

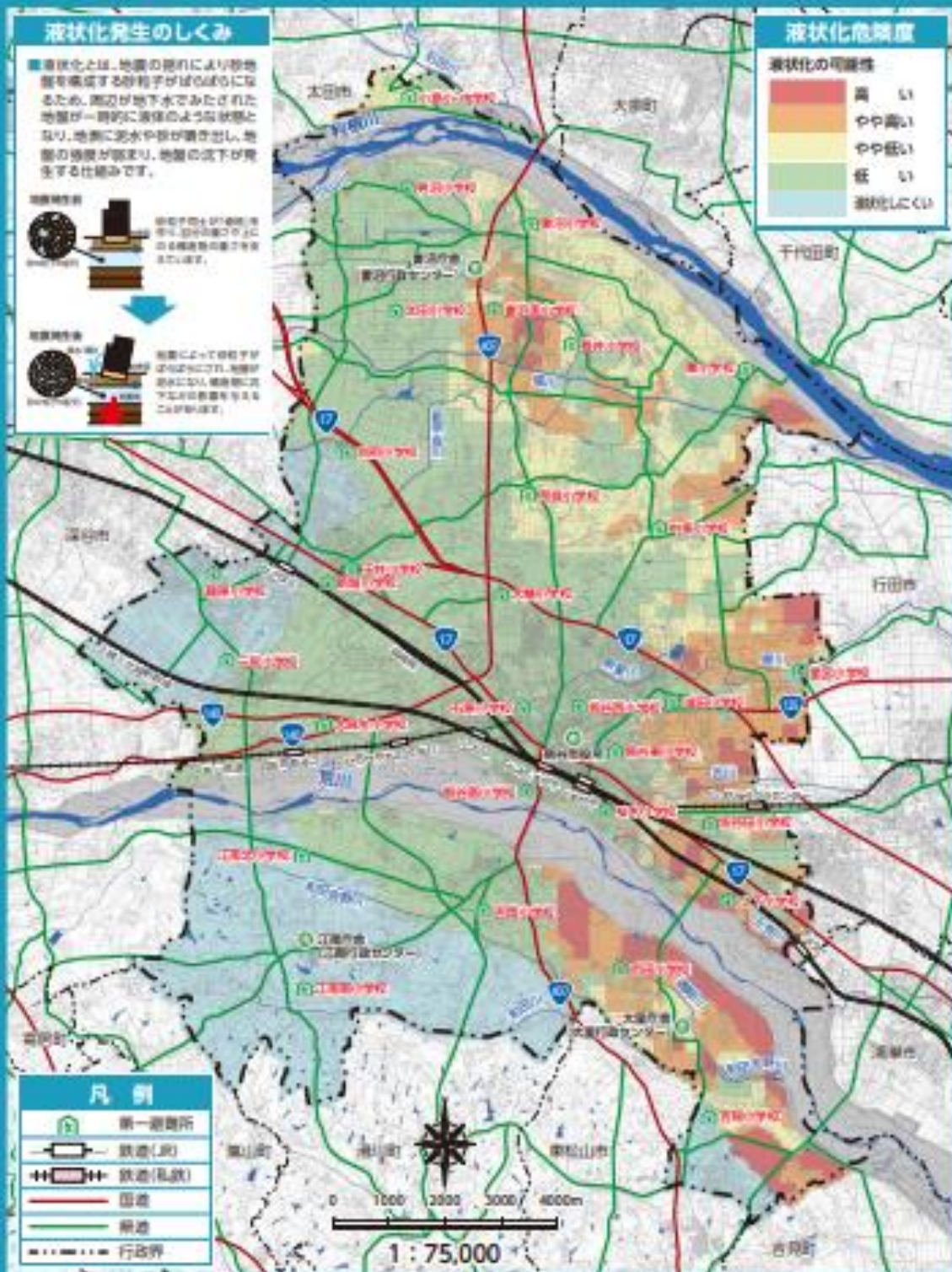


地震によって砂地盤がばらばらになり、地盤が液体になり、間隙に水や空気が湧き出し、地盤の強度が弱まり、地盤の沈下が発生します。

液状化危険度

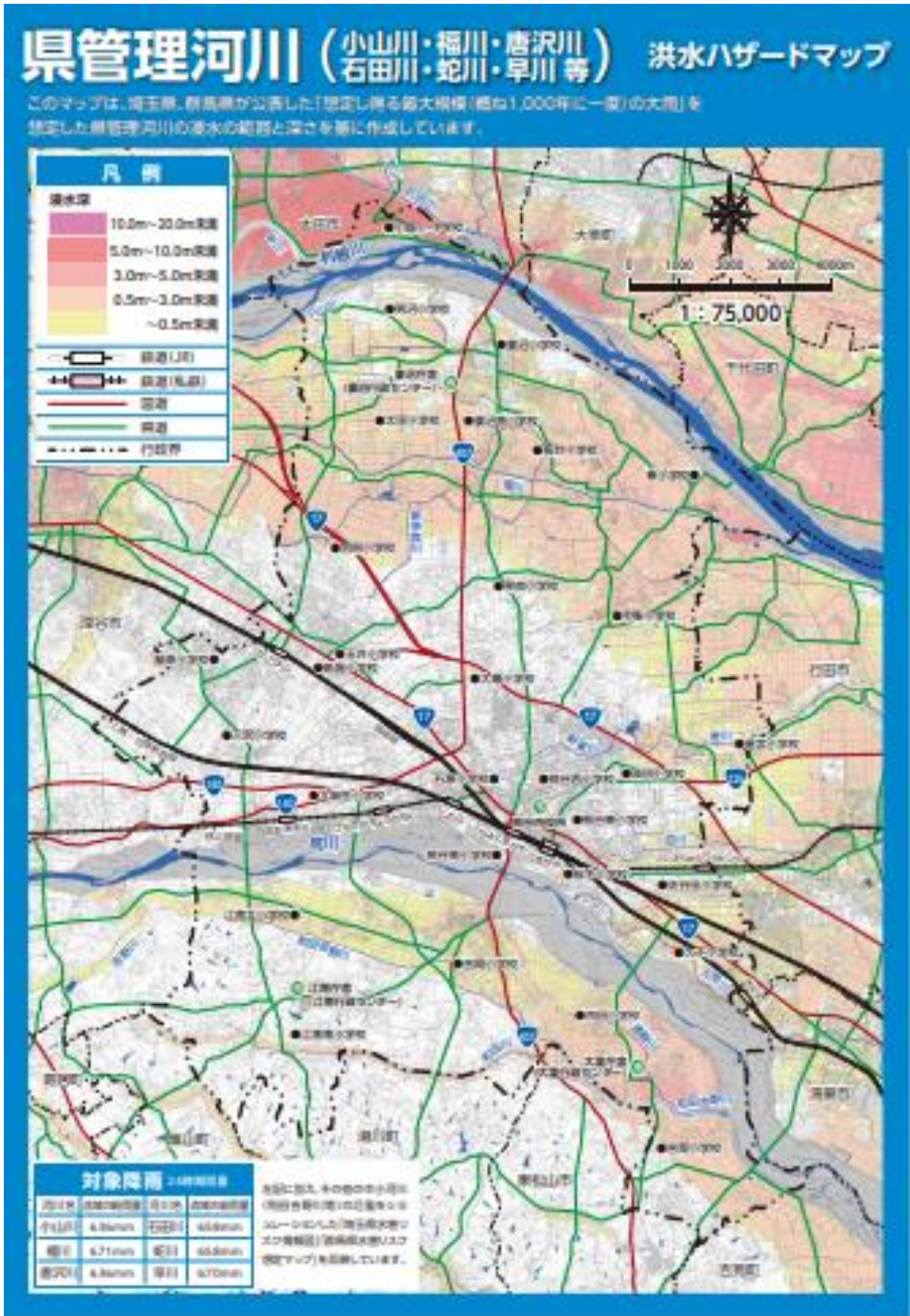
液状化の可能性

赤	高い
オレンジ	やや高い
黄緑	やや低い
緑	低い
青	液状化にくい



凡例

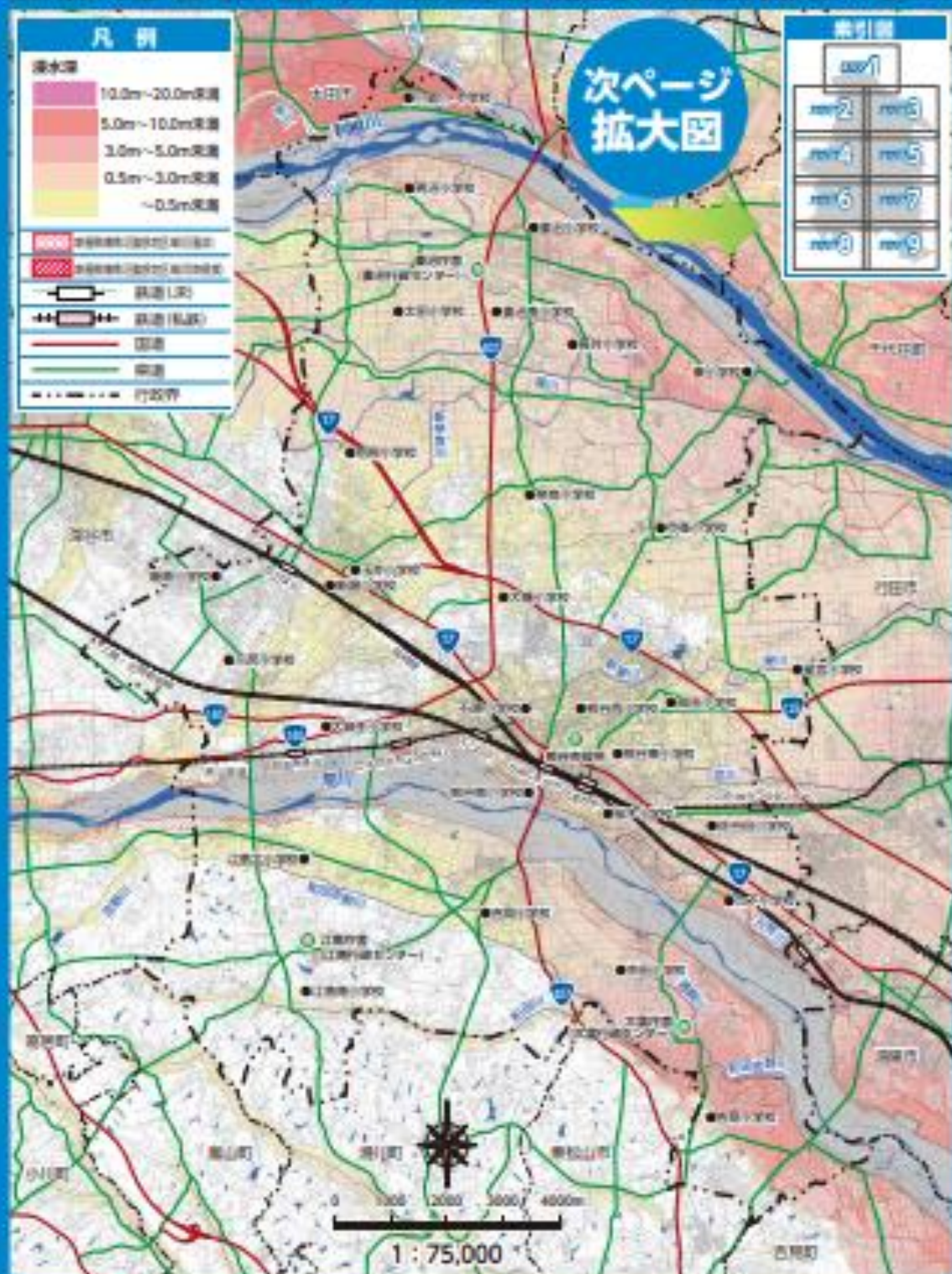
	第一避難所
	鉄道(国)
	鉄道(私鉄)
	国道
	県道
	行政区界



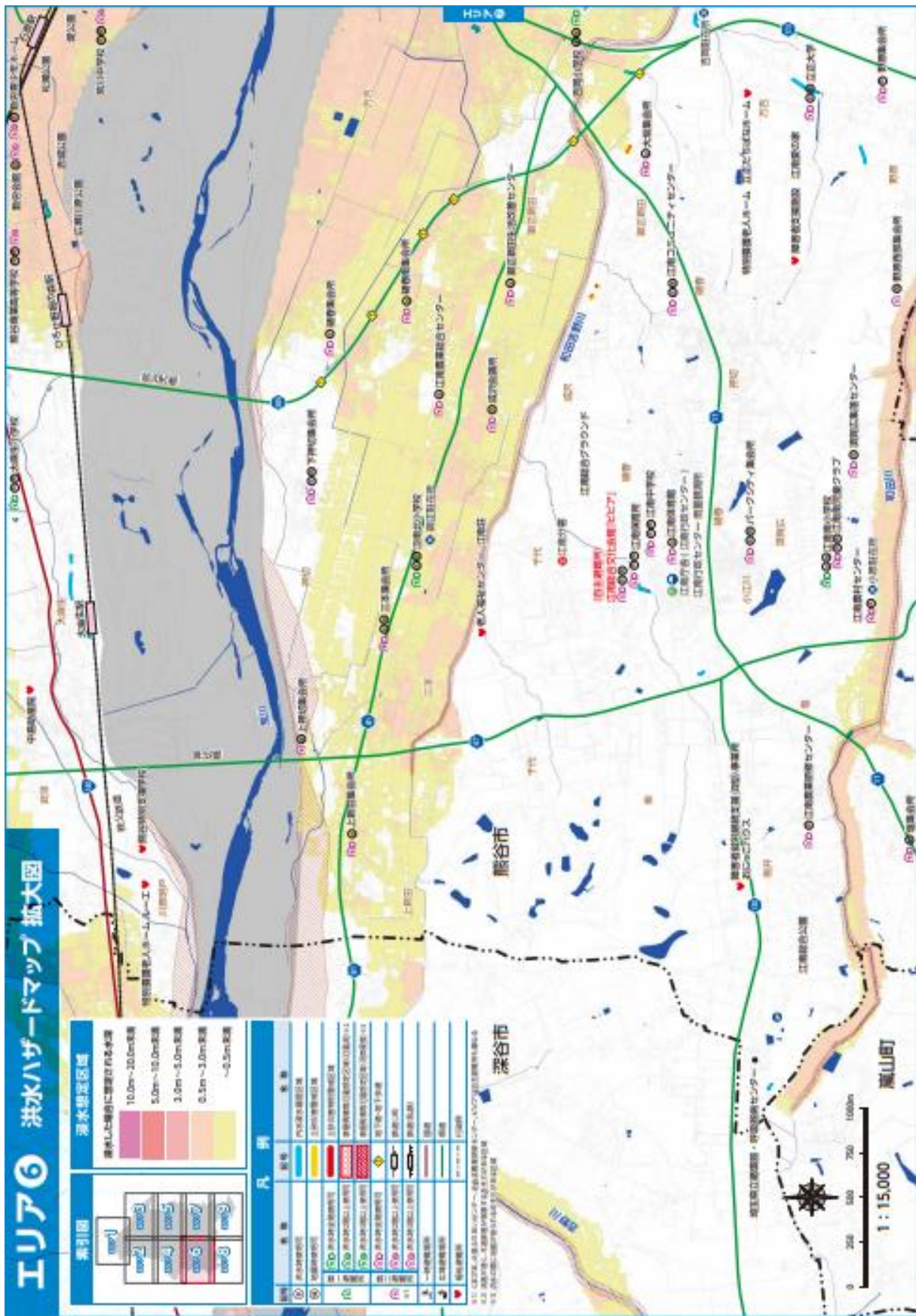
洪水ハザードマップ (P5~P7) 重ね合わせ図

このマップは、国・県が公表した
「想定し得る最大規模(概ね1,000年に一度)の大雨」を
想定した以下の河川等の浸水の範囲と深さを重ね合わせたものです。

(荒川・利根川・小山川・利根川・碓氷川・石田川・荒川・早川浸水想定区域図、埼玉県水害リスク情報図、群馬県水害リスク想定マップ)



別紙3 洪水ハザードマップ



別紙4 利用者の安否確認シート

利用者氏名	安否確認	容態・状況
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	
	無事・死亡・負傷・不明	

別紙6 建物・設備の被害点検シート

対象		状況 (いずれかに○)	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	電気	利用可能／利用不可	
	電話	利用可能／利用不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
	エアコン	利用可能／利用不可	
	冷蔵庫	利用可能／利用不可	
	水道	利用可能／利用不可	
	トイレ	利用可能／利用不可	
	ガス	利用可能／利用不可	
	風呂	利用可能／利用不可	
	コンロ	利用可能／利用不可	
(フロア単位) 建物・設備	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	

